



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 上場取引所 東
コード番号 8769 URL <https://www.armg.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥越慎二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部 (氏名) 天田貴之 TEL 03-5794-3800
ディビジョンマネジャー
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,640	5.0	52	31.2	63	26.5	37	26.0
2024年3月期第1四半期	1,562	7.5	40	△28.2	49	3.8	29	24.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 37百万円 (26.0%) 2024年3月期第1四半期 29百万円 (24.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	2.23	-
2024年3月期第1四半期	1.76	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,652	3,727	55.3
2024年3月期	6,545	3,980	60.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 3,676百万円 2024年3月期 3,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	0.00	-	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,560	8.0	880	21.2	880	19.3	600	18.7	36.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	17,280,200株	2024年3月期	17,280,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	768,351株	2024年3月期	590,851株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	16,644,096株	2024年3月期1Q	16,680,349株

（注）期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式（2025年3月期1Q 308,200株、2024年3月期 308,200株）が含まれております。また、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2025年3月期1Q 308,200株、2024年3月期1Q 308,200株）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、各種政策の効果もあり、足踏みもみられるものの緩やかな回復基調で推移しました。一方で金利上昇気配の高まりや円安の進行、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、エネルギー・資源コストの高騰などによる国内物価の上昇等、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは、「企業に未来基準の元気を！」というコーポレートメッセージの下、人々が「安心して働ける環境」と企業の「活力ある個と組織」をみなさまと共に創り出すことをミッションに、ウェルビーイング関連領域(*)の事業活動を展開いたしました。2024年5月に策定した「中期経営計画2026」(2024年度～2026年度)につきましては、“効果につながるプラットフォームとソリューションをより多くの企業に提供しウェルビーイング領域における圧倒的地位を目指す”を骨子とし、実効性のある豊富で質の高いサービスをワンストップで提供することにより、顧客企業の真のパートナーとしてウェルビーイング経営を支援することを基本方針としております。具体的には、(1)「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」(**)を基軸とした総合販売の継続と進展、(2)既存事業のオーガニックグロス強化、(3)飛躍的成長のための新たな取り組みの推進、(4)チャネル販売の推進、(5)システム・業務改革の推進および収益性の向上を重点テーマとして各種施策を展開いたします。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を軸に顧客企業への複数サービス提供の総合提案営業を引き続き推進し、新規顧客の獲得とウェルビーイング関連の事業領域における課題解決ニーズに対応した様々なソリューションの提案活動を行ってまいりました。

(*) 当社事業における心身の健康、従業員の成長、リスクの予防と発生時の支援、両立支援、福利厚生、余暇支援、会社との一体感醸成等の業務領域

(**) ストレスチェック義務化対応プログラム「アドバンテッジ タフネス」による調査結果や健康診断結果など心身の健康データや、勤怠・休業等の人事労務情報を集約し、ダッシュボードでの見える化、データ分析、課題抽出、効果的なソリューションの提案を行うデータマネジメントプラットフォーム

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、メンタリティマネジメント事業及び就業障がい者支援事業が堅調に推移し、増収となりました。費用面につきましては、従業員の賃金アップに伴う人件費の増加、成長戦略に基づくシステム投資に伴うソフトウェア償却費など経費負担は増加いたしました。売上高が伸長したことにより増益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,640百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は52百万円(前年同期比31.2%増)、経常利益は63百万円(前年同期比26.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

(メンタリティマネジメント事業)

当事業におきましては、ストレスチェックやエンゲージメントサーベイを起点に組織改善までを担うワンストップサービス「アドバンテッジ タフネス」の新規顧客の獲得に注力いたしました。また、組織改善のPDCAを加速するパルスサーベイシステム「アドバンテッジ p d c a (ピディカ)」の導入などエンゲージメント領域の拡大や顧客企業の課題解決ニーズに対応した効果につながる様々なソリューションの提案活動を推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、「アドバンテッジ タフネス」の新規契約の獲得は堅調に推移し増収となりました。費用面につきましては、人件費やシステム投資に伴う償却費負担の増加により経費負担が増加いたしました。売上高が伸長したことにより増益となりました。

これらの結果、メンタリティマネジメント事業の売上高は1,177百万円(前年同期比5.0%増)、セグメント利益は89百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

(就業障がい者支援事業)

当事業におきましては、新たな連携先との関係構築及び既存連携先との関係深化によるGLTD(Group Long Term Disability: 団体長期障害所得補償保険)の新規顧客開拓に取り組みました。また、会社と傷病休のほか産休・育休・介護休業等により休業中の従業員を繋ぎ、人事部門の負担とリスクの軽減と休業者の復職や仕事の両立をサポートする休業者管理支援クラウドサービス「ADVANTAGE HARMONY(アドバンテッジハーモニー)」の営業活動を推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、GLTD販売および「ADVANTAGE HARMONY(アドバンテッジハーモニー)」の新規契約が堅調に推移し増収となりました。費用面につきましては、顧客拡大に伴

うオペレーションシステムの増強等により経費負担が増加いたしました。売上高が伸長し、増益となりました。

これらの結果、就業障がい者支援事業の売上高は394百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は93百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

（リスクファイナンス事業）

主に企業等に勤務する個人を対象として保険商品を販売している当事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で減収となりました。費用面につきましては、効率的なオペレーション業務体制の維持によりコスト抑制に努めました。

これらの結果、リスクファイナンス事業の売上高は68百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益は45百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より107百万円増加し、6,652百万円となりました。流動資産は177百万円増加し、3,032百万円となりました。これは主に、売掛金、保険代理店勘定が減少したものの、当期間の経営成績の結果により現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産は69百万円減少し、3,619百万円となりました。これは主に、無形固定資産が償却により減少したことおよび繰延税金資産が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より359百万円増加し、2,924百万円となりました。流動負債は352百万円増加し、2,561百万円となりました。これは主に、未払法人税等および保険料預り金が減少した一方で前受収益が増加したことによるものです。固定負債は7百万円増加し、362百万円となりました。これは主に、「株式給付信託（J-ESOP）」による株式給付引当金の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より252百万円減少し、3,727百万円となりました。これは主に、配当を実施したことによるものです。

なお、保険会社に帰属する保険料で当社の口座に残高のあるものについては、保険代理店勘定及び保険料預り金として対照勘定処理を行っております。これらを除いた場合の自己資本比率は55.7%となります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、本資料発表日現在予測可能な株式数の増減を反映させた期中平均株式数を元に算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428,867	1,895,361
売掛金	1,073,957	907,005
保険代理店勘定	192,922	55,468
その他	159,921	175,028
流動資産合計	2,855,668	3,032,864
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	322,427	323,057
減価償却累計額	△199,908	△204,246
建物附属設備(純額)	122,519	118,811
工具、器具及び備品	161,482	161,482
減価償却累計額	△136,832	△138,700
工具、器具及び備品(純額)	24,650	22,782
リース資産	6,600	6,600
減価償却累計額	△831	△1,161
リース資産(純額)	5,768	5,438
有形固定資産合計	152,937	147,032
無形固定資産		
のれん	273,062	268,280
ソフトウェア	2,034,092	2,031,756
ソフトウェア仮勘定	311,365	279,727
その他	13,619	14,203
無形固定資産合計	2,632,139	2,593,969
投資その他の資産		
投資有価証券	557,579	557,579
敷金及び保証金	177,994	177,808
繰延税金資産	156,654	130,889
その他	12,269	12,420
投資その他の資産合計	904,499	878,698
固定資産合計	3,689,576	3,619,700
資産合計	6,545,244	6,652,564

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	46,967	42,196
未払金	332,085	315,128
未払法人税等	181,815	9,973
前受収益	757,222	1,498,204
保険料預り金	192,922	55,468
リース債務	1,452	1,452
賞与引当金	209,212	123,808
役員賞与引当金	3,454	2,878
その他	314,013	342,740
流動負債合計	2,209,146	2,561,850
固定負債		
長期借入金	121,229	119,255
株式給付引当金	151,278	160,761
リース債務	5,014	4,651
資産除去債務	78,055	78,110
固定負債合計	355,577	362,777
負債合計	2,564,723	2,924,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	365,964	365,964
資本剰余金	317,554	317,554
利益剰余金	3,840,075	3,673,139
自己株式	△594,203	△679,852
株主資本合計	3,929,390	3,676,805
新株予約権	51,130	51,130
純資産合計	3,980,520	3,727,935
負債純資産合計	6,545,244	6,652,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,562,811	1,640,331
売上原価	460,612	498,655
売上総利益	1,102,199	1,141,675
販売費及び一般管理費	1,061,865	1,088,774
営業利益	40,333	52,901
営業外収益		
受取配当金	8,407	10,208
未払配当金除斥益	388	363
助成金収入	1,092	539
その他	73	563
営業外収益合計	9,961	11,673
営業外費用		
支払利息	311	589
支払手数料	—	756
営業外費用合計	311	1,346
経常利益	49,983	63,228
税金等調整前四半期純利益	49,983	63,228
法人税、住民税及び事業税	731	429
法人税等調整額	19,865	25,764
法人税等合計	20,597	26,194
四半期純利益	29,386	37,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,386	37,034

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	29,386	37,034
四半期包括利益	29,386	37,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,386	37,034
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、当第1四半期連結累計期間において当社株式177,500株、85,648千円の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が679,852千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	148,350千円	183,466千円
のれんの償却額	723	4,781

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,121,760	365,824	75,226	1,562,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,121,760	365,824	75,226	1,562,811
セグメント利益	77,220	84,842	53,080	215,142

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	215,142
全社費用(注)	△174,809
四半期連結損益計算書の営業利益	40,333

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,177,509	394,073	68,748	1,640,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,177,509	394,073	68,748	1,640,331
セグメント利益	89,256	93,169	45,222	227,648

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,648
全社費用(注)	△174,747
四半期連結損益計算書の営業利益	52,901

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(子会社の設立及び当該子会社における会社分割)

当社は、2024年8月2日開催の取締役会において、当社が新たに設立した完全子会社2社にメドピア株式会社の連結子会社である株式会社Mediplat（以下、「Mediplat」という）の全事業及び株式会社フィッツプラス（以下、「フィッツプラス」という）の全事業を会社分割（吸収分割）により承継させること（以下、「本件各吸収分割」という）並びに当該子会社の商号を変更することについて決議いたしました。

1. 子会社設立及び本件各吸収分割の目的

Mediplatの参画による当社の産業保健事業の強化と、フィッツプラスの参画による当社の特定保健指導事業の強化により、各事業において業界トップシェアの地位を目指すことを目的として、子会社2社の設立及び本件各吸収分割を実施するものです。

2. 新設した子会社の概要

当社は2024年7月31日付で株式会社アドバンテッジメディカル（以下、「アドバンテッジメディカル」という）及び株式会社アドバンテッジヘルスケア（以下、「アドバンテッジヘルスケア」という）を設立いたしました。

3. 本件各吸収分割の要旨

(1) 本件各吸収分割の日程

取締役会決議日（当社及び子会社2社）	: 2024年8月2日
吸収分割契約締結日	: 2024年8月2日
株主総会決議日（子会社2社）	: 2024年8月22日（予定）
効力発生日	: 2024年9月30日（予定）

(2) 本件各吸収分割の方式

- 吸収分割① Mediplatを分割会社、アドバンテッジメディカルを承継会社とする吸収分割です。
吸収分割② フィッツプラスを分割会社、アドバンテッジヘルスケアを承継会社とする吸収分割です。

(3) 本件各吸収分割に係る割当ての内容

- 吸収分割① アドバンテッジメディカルは、本件各吸収分割の対価としてMediplatに1,350百万円を交付する予定です。
吸収分割② アドバンテッジヘルスケアは、本件各吸収分割の対価としてフィッツプラスに1,000百万円を交付する予定です。

(4) 本件各吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本件各吸収分割により増減する資本金

該当事項はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

- 吸収分割① アドバンテッジメディカルは、Mediplatの全事業並びに係る事業に関する資産、債務、契約上の地位その他の権利義務のうち、吸収分割契約において定めるものを承継いたします。
吸収分割② アドバンテッジヘルスケアは、フィッツプラスの全事業並びに係る事業に関する資産、債務、契約上の地位その他の権利義務のうち、吸収分割契約において定めるものを承継いたします。

(7) 債務履行の見込み

本件各吸収分割において、効力発生日以降のアドバンテッジメディカル及びアドバンテッジヘルスケアが負担すべき債務の履行の見込みに問題はないものと判断しております。

4. 本件各吸収分割の当事会社の概要

吸収分割①

	分割会社 (2024年6月30日現在)	承継会社 (2024年8月1日現在)
(1)名称	株式会社Mediplat	株式会社アドバンテッジメディカル
(2)所在地	東京都中央区築地一丁目13番1号	東京都目黒区上目黒二丁目1番1号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石見 陽	代表取締役社長 天田 貴之
(4)事業内容	クラウド型健康管理サービス 「first call」の運営	医療及びヘルスケア関連事業の営業、 調査、経営、マーケティングの支援並 びにコンサルティング
(5)資本金	182百万円	10百万円
(6)設立年月日	2015年11月25日	2024年7月31日
(7)発行済株式総数	2,941株	1,000株
(8)決算期	9月30日	3月31日
(9)大株主及び持分比率	メドピア株式会社 100%	株式会社アドバンテッジリスクマネジ メント 100%
(10)直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決 算 期	2023年9月期	—
純 資 産	585百万円	—
総 資 産	742百万円	—
1株当たり純資産	199,168.07円	—
売 上 高	1,216百万円	—
営 業 利 益	63百万円	—
経 常 利 益	62百万円	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	43百万円	—
1株当たり当期純利益	14,660.96円	—

吸収分割②

	分割会社 (2024年6月30日現在)	承継会社 (2024年8月1日現在)
(1)名称	株式会社フィッツプラス	株式会社アドバンテッジヘルスケア
(2)所在地	東京都中央区築地一丁目13番1号	東京都目黒区上目黒二丁目1番1号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 神林 基	代表取締役社長 天田 貴之
(4)事業内容	特定保健指導サービスの提供、食生活 コーディネーターサービスの提供及びメ ディアサービスの運営	健康診断業務及び健康管理システムに関 する企画、開発、運営、管理の受託並び に健康管理データの処理、管理及びその 結果に基づく健康支援サービスなど
(5)資本金	100百万円	10百万円
(6)設立年月日	2006年3月13日	2024年7月31日
(7)発行済株式総数	4,235株	1,000株
(8)決算期	9月30日	3月31日
(9)大株主及び持分比率	メドピア株式会社 100%	株式会社アドバンテッジリスクマネジ メント 100%
(10)直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決 算 期	2023年9月期	—
純 資 産	278百万円	—
総 資 産	462百万円	—
1株当たり純資産	65,682.93円	—
売 上 高	1,031百万円	—
営 業 利 益	108百万円	—
経 常 利 益	107百万円	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	69百万円	—
1株当たり当期純利益	16,511.48円	—

5. 承継する事業部門の概要

(1) 承継する部門の事業内容

- ① Mediplatが営むクラウド型健康管理サービス事業の全部
- ② フィットプラスが営む特定保健指導事業等の全部

(2) 承継する部門の経営成績 (2023年9月期)

売上高 1,858百万円

(3) 承継する資産、負債の項目及び金額

資産合計：1,538百万円、負債合計：555百万円

上記の金額は2024年6月30日を基準に算定したものであり、実際に承継する資産・負債の金額は、上記の金額に本件各吸収分割の効力発生日前日までの増減を加味した数値となります。

6. 子会社の商号変更

アドバンテッジメディカル及びアドバンテッジヘルスケアは、下記のとおり商号の変更を予定しております。

(1) 新商号

変更前：株式会社アドバンテッジメディカル

変更後：株式会社Mediplat

変更前：株式会社アドバンテッジヘルスケア

変更後：株式会社フィットプラス

(2) 変更日

2024年8月22日

7. 今後の見通し

本件各吸収分割により、2025年3月期第3四半期から当社連結業績向上に寄与する見込みですが、2025年3月期に与える影響については現在精査中であり、今後、開示すべき事項が生じた場合は、速やかに公表いたします。